



## 平成27年4月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年9月12日

上場取引所 東

上場会社名 ヤーマン株式会社

コード番号 6630 URL <http://www.ya-man.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 山崎 貴三代

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長

(氏名) 宮崎 昌也

TEL 03-5665-7330

四半期報告書提出予定日 平成26年9月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年4月期第1四半期の連結業績(平成26年5月1日～平成26年7月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年4月期第1四半期	3,287	△18.1	10	—	2	—	0	—
26年4月期第1四半期	4,014	△23.2	△563	—	△539	—	△339	—

(注) 包括利益 27年4月期第1四半期 1百万円 (—%) 26年4月期第1四半期 △360百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年4月期第1四半期	0.13	—
26年4月期第1四半期	△58.12	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年4月期第1四半期	9,895	6,528	66.0
26年4月期	10,321	6,631	64.2

(参考) 自己資本 27年4月期第1四半期 6,528百万円 26年4月期 6,631百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年4月期	—	18.00	—	18.00	36.00
27年4月期	—	—	—	—	—
27年4月期(予想)	—	18.00	—	18.00	36.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成27年4月期の連結業績予想(平成26年5月1日～平成27年4月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	6,443	△12.7	167	—	160	—	102	—	17.53
通期	14,501	0.9	659	76.8	647	73.1	414	88.4	70.98

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年4月期1Q	5,834,888 株	26年4月期	5,834,888 株
② 期末自己株式数	27年4月期1Q	152 株	26年4月期	152 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年4月期1Q	5,834,736 株	26年4月期1Q	5,834,736 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、(添付資料)2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	P. 2
(1) 経営成績に関する説明 .....	P. 2
(2) 財政状態に関する説明 .....	P. 2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	P. 2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	P. 3
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	P. 3
3. 四半期連結財務諸表 .....	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	P. 5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	P. 7
(継続企業の前提に関する注記) .....	P. 7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	P. 7
(セグメント情報等) .....	P. 7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(自平成26年5月1日至平成26年7月31日)におけるわが国経済は、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動による景気の減速が見られたものの、その影響は限定的で、全体としては緩やかな回復基調で推移しました。

このような状況の下、当社グループは、直接取引を行う大手家電量販店の店舗数の拡大や、効率を意識した広告宣伝活動など、中長期戦略を見据えた足元の体質強化に努めてまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は3,287百万円(前年同四半期比18.1%減)、経常利益は2百万円(前年同四半期は539百万円の損失)、四半期純利益は0百万円(前年同四半期は339百万円の損失)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### ① 通販部門

通販部門では、テレビによる通信販売業者を経由した個人顧客への販売、カタログ通販会社向けの販売、インターネット専売業者向けの販売を行っております。

ショッピング専門チャンネル向けではやや苦戦しましたが、地上波通販会社向けやカタログ通販会社向けが好調で、売上高は1,625百万円(前年同四半期比16.3%増)、セグメント利益は534百万円(前年同四半期比19.0%増)となりました。

#### ② 店販部門

店販部門では、家電量販店、大手百貨店、バラエティショップ等への販売を行っております。

大手家電量販店向け卸売事業における販売形態の直接取引化が一段落し、店舗数が拡大されてきたことから、売上高は700百万円(前年同四半期比36.0%増)、セグメント利益は138百万円(前年同四半期比310.8%増)となりました。

#### ③ 直販部門

直販部門では、インフォマーシャルや雑誌、新聞、Web等を用いた個人顧客への販売を行っております。

前連結会計年度に引き続き、インフォマーシャルや各種媒体広告について、売上に対する効率を重視して行った結果、売上高は886百万円(前年同四半期比57.4%減)となったものの、セグメント利益は24百万円(前年同四半期は91百万円の損失)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産は、前連結会計年度末に比べ425百万円減少し、9,895百万円となりました。現金及び預金の増加158百万円、受取手形及び売掛金の減少325百万円、商品及び製品の減少272百万円が主な要因であります。

負債は、前連結会計年度末に比べ322百万円減少し、3,367百万円となりました。支払手形及び買掛金の減少172百万円、未払金の増加168百万円、未払法人税等の減少178百万円、長期借入金の減少96百万円が主な要因であります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ103百万円減少し、6,528百万円となりました。四半期純利益の計上0百万円及び剰余金の配当105百万円による利益剰余金の減少104百万円が主な要因であります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期以降につきましては、利益を重視した販売施策を継続するとともに、ヤーマンブランドの浸透にも力を入れてまいります。

なお、平成26年4月期決算発表時(平成26年6月13日)に公表した業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年5月1日 至 平成26年7月31日)
(税金費用の計算)  税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年4月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年7月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,454,078	3,612,922
受取手形及び売掛金	1,792,590	1,467,385
有価証券	50,129	50,136
商品及び製品	3,224,434	2,952,295
仕掛品	33,688	51,058
原材料及び貯蔵品	239,140	239,898
その他	586,431	574,420
貸倒引当金	△3,217	△3,061
流動資産合計	9,377,276	8,945,056
固定資産		
有形固定資産	531,927	541,896
無形固定資産	262,862	261,097
投資その他の資産	149,156	147,552
固定資産合計	943,946	950,547
資産合計	10,321,222	9,895,603
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,170,524	997,883
1年内返済予定の長期借入金	423,365	388,511
未払金	578,967	747,740
未払法人税等	184,569	5,937
賞与引当金	30,500	11,975
返品調整引当金	126,129	98,170
その他	123,720	160,600
流動負債合計	2,637,776	2,410,818
固定負債		
長期借入金	1,034,882	938,539
その他	17,313	18,065
固定負債合計	1,052,195	956,605
負債合計	3,689,972	3,367,423
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,813,796	1,813,796
資本剰余金	1,313,795	1,313,795
利益剰余金	3,501,236	3,396,952
自己株式	△140	△140
株主資本合計	6,628,687	6,524,403
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,563	3,776
その他の包括利益累計額合計	2,563	3,776
純資産合計	6,631,250	6,528,179
負債純資産合計	10,321,222	9,895,603

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年5月1日 至平成25年7月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年5月1日 至平成26年7月31日)
売上高	4,014,651	3,287,444
売上原価	1,542,871	1,565,697
売上総利益	2,471,779	1,721,746
返品調整引当金戻入額	183,054	126,129
返品調整引当金繰入額	151,122	98,170
差引売上総利益	2,503,711	1,749,705
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	1,826,542	719,864
給料及び手当	159,706	155,451
賞与引当金繰入額	13,750	11,975
減価償却費	26,579	24,332
研究開発費	21,947	25,766
その他	1,018,827	801,831
販売費及び一般管理費合計	3,067,352	1,739,221
営業利益又は営業損失(△)	△563,640	10,483
営業外収益		
受取利息	144	97
受取配当金	114	120
為替差益	24,106	—
貸倒引当金戻入額	3,987	156
その他	2,779	3,498
営業外収益合計	31,132	3,872
営業外費用		
支払利息	5,757	5,628
支払保証料	164	—
為替差損	—	4,542
その他	1,358	2,149
営業外費用合計	7,281	12,320
経常利益又は経常損失(△)	△539,788	2,036
特別損失		
固定資産除却損	1,185	—
特別損失合計	1,185	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前 四半期純損失(△)	△540,974	2,036
法人税等	△201,879	1,294
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株 主損益調整前四半期純損失(△)	△339,094	741
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△339,094	741

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年5月1日 至平成25年7月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年5月1日 至平成26年7月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△339,094	741
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△670	1,212
繰延ヘッジ損益	△20,437	—
その他の包括利益合計	△21,108	1,212
四半期包括利益	△360,202	1,954
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△360,202	1,954
少数株主に係る四半期包括利益	—	—



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第1四半期連結累計期間(自平成25年5月1日至平成25年7月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	通販部門	店販部門	直販部門	計				
売上高								
外部顧客への売上高	1,397,678	514,738	2,083,975	3,996,391	18,259	4,014,651	—	4,014,651
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	87,119	87,119	△87,119	—
計	1,397,678	514,738	2,083,975	3,996,391	105,378	4,101,770	△87,119	4,014,651
セグメント利益又は損 失(△)	448,790	33,640	△91,110	391,319	△13,317	378,002	△941,643	△563,640

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、先端電子部門、海外戦略部門等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△941,643千円には、セグメント間取引消去9,300千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△950,943千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自平成26年5月1日至平成26年7月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	通販部門	店販部門	直販部門	計				
売上高								
外部顧客への売上高	1,625,436	700,261	886,875	3,212,572	74,871	3,287,444	—	3,287,444
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	75,491	75,491	△75,491	—
計	1,625,436	700,261	886,875	3,212,572	150,363	3,362,936	△75,491	3,287,444
セグメント利益	534,032	138,197	24,463	696,693	29,890	726,584	△716,100	10,483

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、先端電子部門、海外戦略部門等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△716,100千円には、セグメント間取引消去9,300千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△725,400千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。